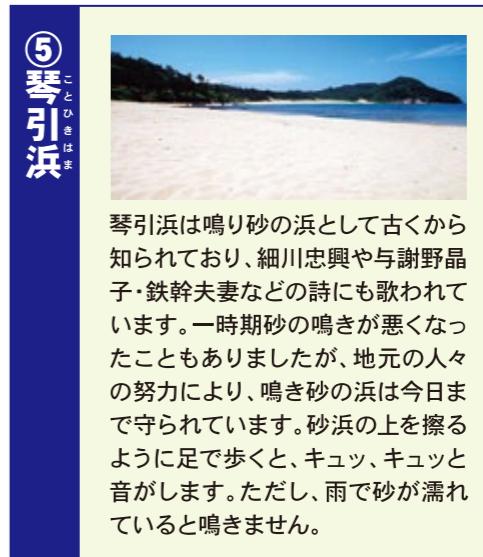


みどころいっぱい琴引浜



クイズの答え

- ①天然記念物・名勝、鳴き砂の浜としては全国で初めての指定です。
- ②答え：2番のゴマノハグサ科です。漢字で洞庭藍（トウテイラン）と書きます。琴引浜を東限として鳥取県までの海岸沿いに自生する多年草です。中国の洞庭湖の水のような、るり色の花が咲くことから名づけられています。

ジオコラム①

鳴き砂はなぜ鳴くの？

琴引浜の砂の主成分は石英です。石英の砂粒は、きれいな水や空気の中で充分洗わると、表面の摩擦係数が極端に大きくなるという特性があります。

そのため、触れたり踏んだりして砂に力が加わったとき、ある限界まではグッともちこたえますが、さらに大きな力が加わると耐えきれずに動きます。動けば加わった力が開放されて砂は静止します。これを繰り返すことによって、砂粒がばらばらでなく一団となって振動して音が出るわけです。

反対に、タバコの灰などで少しでも汚れると砂はたちまち鳴かなくなります。普通の砂は石英の含有量が少ないとともに、たいてい砂粒の表面が汚れていて鳴くことはありません。



ジオコラム②

琴引浜の地質

琴引浜は掛津の集落から海岸へ出て太鼓浜の岩石の磯を中心として、東西1.5km以上にわたって砂浜が連なります。西端の小浜側の岩石は流紋岩質の凝灰岩や溶岩ですが、太鼓浜から東と南の「山地・岩石」は浅海成の地層に凝灰岩や溶岩を挟みます。「古砂丘」は最終氷期(12万年前～1万年前)の砂丘砂のことですが、多くは12万年～10万年前のものです。「新砂丘」は1万年前以降の現在の砂丘砂です。

